

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 寺本 亮洞
〒520-0113 大津市坂本 4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和元(2019)年11月1日金曜日
(毎月1日発行)1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



広報天台

東日本を始め、各教区寺院で被害が発生

— 台風15号・19号 —

天台宗が風水害災害対策本部を設置

台風15号・19号の風水害により甚大な被害が発生したことを受け、天台宗は10月17日、杜多道雄宗務総長を本部長とする「令和元年台風15号・19号風水害天台宗災害対策本部」を設置した。被災寺院への見舞金や檀信徒へのお見舞い、ボランティア活動を行う団体へ支援する他、被災した自治体へ義援金を送る。また支援活動を一宗挙げて行うため、義援金募金のお願いを18日に全教区寺院に発送し協力を求めた。

台風15号および19号発生以来、天台宗では社会部を中心に宗内寺院の被害状況把握に努めてきた。

災害対策本部は、副本部長に小堀光實延暦寺執行、事務局長に寺本亮洞総務部長が就任。天台宗と延暦寺内局員によって構成され、今後、被災寺院および各被災地を訪問し、視察とお見舞いを行う。杜多道雄本部長は「被災さ

れた皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈らずにはいたしません。被害に遭われた御寺院には、お見舞いをお送りするなど対応をさせていただきます」と述べている。

台風15号による被害では、神奈川、東京、北総、南総、埼玉、茨城の6教区で、墓石の破損、本堂の瓦・外壁破損、雨漏り、庫裡、山門の破損、倒木などの被害が出ている。南総では崖崩れや浸水などの被害も。また、その後に襲来した19号でも滋賀、信越、東京、栃木、福島の各教区で被害が出ており、その後も強雨が続けていることから、被害も拡大するものと思われる。



台風19号による豪雨で決壊した長野市を流れる千曲川 (写真提供 産経新聞社)

台風15号 被害報告一覧

教区	被害報告数	建物被害数
神奈川	22件	14件
東京	26件	10件
北総	29件	21件
南総	72件	48件
埼玉	6件	0件
茨城	16件	13件
計6教区	171件	106件

※ 令和元年10月24日現在

台風19号 被害報告一覧

教区	被害報告数	建物被害数
滋賀	1件	0件
信越	3件	1件
東京	6件	11件
栃木	17件	9件
福島	4件	2件
計5教区	31件	23件

※ 令和元年10月24日現在

令和元年台風第15号並びに第19号により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

天台宗 一隅を照らす運動総本部

極微

台風や突風の被害を受けた家屋の屋根などに、雨風避けのためのブルーシートが掛けられている光景は、今年もテレビ報道などでよく見かけたものだ。青い色がまだらに混じる被災住宅地の姿は、何度見ても心が痛む。その無残な光景が半年も一年近く経っても残っていると「ああ、いつになったら元の姿に戻るのか」と被災者の苦悩が思いやられるばかりだ。▼そんな時、ふと頭をよぎったのは「なぜブルーシートはブルーなのか」という疑問だ。なにもブルーばかりでなく、いろんな色でもいいのに、である。調べたら、昔は帆布や綿布などで作られ、色も黄色系統であったようだ。やがて樹脂製に変わったが、その時はオレンジ色だったそうだ。1965年頃から青色になったらしい。その大きな理由は青色の顔料が一番安価であることだそう。▼今では、ブルーシートを見るとすぐ被災を連想するようになってしまったが、災害列島日本に住む者としては、致し方のないことだろう。災害の絶えぬ国だから、いつまでもその印象は変わることがないかもしれない。しかし、あの痛ましい光景はいつ見ても悲しい限りだ。なんとか変わってほしいものと思う。災害の代名詞としてではなく、本来の用途で使われる工事現場や、あるいは花見の場所で見かけたものにするくらいになってほしいものである。